

第5次横須賀市男女共同参画プランの「中間評価」の方法について (審議会委員の意見を受けた変更案)

1 中間評価の位置づけ

第5次横須賀市男女共同参画プラン（19 ページ）

次期プラン策定の前年度（令和3年度）に、アンケート調査を実施し、その結果等から数値目標の達成状況を確認します。プランの効果や課題等を分析し、審議会の意見を聴いた上で、その結果を公表します。

2 中間評価で行う作業内容（方法）

(1) アンケート調査の実施 令和3年8月に実施済み

(2) 最終評価（令和5年度に実施）に向けた指標数値目標の達成度の経過を確認する。

- ・第5次プランに掲げた指標数値目標（13項目）の達成度評価を行う。
市民等アンケート調査結果を用いるものについては、令和3年8月に実施したアンケート結果の数値を用いる。

以下に掲げる表をもって達成度評価の基準とする。

達成度評価		評価の基準
A（達成）		・目標値を達成した。
B（順調）		・目標値達成率※が7割以上であった。
C（横ばい）		・目標値達成率※が7割未満であった。
D（後退）		・平成28年度のプラン策定時数値より後退した。

※目標値達成率＝変動値／（目標値－平成28年度プラン策定時現状値）

(3) 第5次プランの効果・課題を分析する。

- ・指標数値目標の達成・未達の理由の洗い出しを行う。
各指標数値目標達成・未達成に影響を与えてきたと考えられる事業について、令和2年度までの毎年度の実績報告から、**重点事業**として選定し、指標の達成・未達成の原因となる部分を分析する。
→次期プラン策定の際、今後も取り組むべき**重点事業**として掲載する。

○重点事業の選出ポイント

選定項目	ポイント	評価
事業達成度	当初の事業目的を達成できたか	達成・未達成
寄与度	数値目標の変動に、各事業がどの位 貢献したか	寄与度 大・小
外部環境による影響度	施策以外の外部環境による影響が あったか	影響度 大・小

上記3選定項目に基づき、指標数値目標に影響を与えた事業について分析する。